

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-87	高等学校	公民	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	公共 007-901	詳述公共 新訂版		

1. 編修の基本方針

○第2条の目標を達成するため、次の通り編修した。

- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、学習効果の高い図版を多数掲載したほか、本文記述に関連した最新の話題や動向を学べるコラムを設けた。また、豊かな情操と道徳心を培う観点から、人間としての在り方や生き方について思索してきた先哲の思想を詳述するとともに、原典資料を多数掲載した（第1号）。
- ・創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、生徒の思考力、判断力、表現力等の養成に資する問いかけを全編にわたって掲載した（第2号）。
- ・正義と責任、男女の平等、自他の敬愛を重んずる態度を養う観点から、倫理分野・人権分野を詳述した。また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画しその発展に寄与する態度を養うために、本文ページで学んだ知識を活用し、資料読解を通じて現実社会の課題の解決策を多面的・多角的に考察・構想・議論する特集「Active」を章の途中や章末に設けたほか、政治参加の重要性について理解し、主権者としての意識を涵養するための特集ページを設けた（第3号）。
- ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために、地球環境問題とその解決に向けた国際的な取り組みについて記述した（第4号）。
- ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本の伝統・文化や日本人の先哲の思想、我が国の領土に関する内容を詳述した。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、異なる文化や宗教をもつ人々との共生の在り方や日本の国際貢献について記述した（第5号）。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の世界遺産を取り上げ、我が国の文化と貴重な自然について、理解できるようにした（第5号）。	前見返し 3
第1編 第1章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、自らを成長させる人間としての在り方生き方について、生涯における青年期の課題を記述した（第1号）。	p. 10～15
	・職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、キャリアと社	p. 16～17

	会参加について、自らのキャリア形成がよりよい社会の形成にも結び付くことをふまえて記述した（第2号、第3号）。 ・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う観点、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、社会が伝統や文化、宗教などを背景にして成り立っていることをふまえ、日本の伝統・文化や日本人の伝統的な自然観や倫理観について記述した。また、地域の伝統行事の継承に高校生が関わっている事例をコラムで取り上げた（第3号、第5号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、社会に参画する自立した主体について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。	p. 15, 17, 18～21 各節
第1編 第2章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、社会的な存在である人間の在り方生き方について思索した、先哲の思想を記述した（第1号、第3号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、選択・判断の手掛かりとして、帰結主義や義務論などの考え方を詳述した。また、上の考え方を思考実験などを通して活用し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察・表現する特集ページを設けた（第1号、第3号）。 ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、地球環境問題や生命倫理の課題について記述した（第4号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、人間としての在り方生き方について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。	p. 24～45 p. 38, 46～47, 49, 51 p. 48～51 各節
第1編 第3章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点や個人の価値を尊重する観点、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う態度を養う観点から、人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務について詳述した。また、上の公共的な空間における基本的原理について、思考実験を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察する特集ページを設けた（第1号、第3号）。 ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、男女共同参画社会を実現するための政策や取り組みを記述した。また、日本の課題やその解決策について、多	p. 54～57, 59 p. 55, 58

	面的・多角的に考察・構想・議論する特集ページを設けた（第3号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、公共的な空間における基本的原理について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。	各節
第1編 第4章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点や個人の価値を尊重する観点、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、民主政治の成り立ちと発展について、民主主義や法の支配、個人の尊重といった公共的な空間における基本的原理をふまえながら記述した（第1号、第2号、第3号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、公共的な空間における基本的原理について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。	p. 62～74 各節
第2編 第1章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点から、日本国憲法制定の歩みと憲法の基本原理、人権の保障について記述した（第1号）。 ・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、日本国憲法の平和主義の理念と我が国の安全保障の在り方、世界平和の在り方について記述した（第5号）。 ・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点から、情報化社会における問題点をイラストやコラムで紹介し、生徒の注意を喚起できるように工夫した（第1号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、法や政治に関する現実社会の課題について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。	p. 78～81, 90～105 p. 82～89 p. 108～109 各節
第2編 第2章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、我が国の統治機構や地方自治、選挙をはじめとする政治参加と世論の形成について記述した（第1号）。 ・正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、司法の役割や刑事裁判・裁判員制度のしくみについて記述した（第3号）。 ・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、選挙に参加する意義について、模擬選挙を通して理解を	p. 112～117, 124～141 p. 118～123 p. 144～147

	深めることができる特集ページを設けた（第3号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、法や政治に関する現実社会の課題について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した(第2号)。	各節
第2編 第3章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、経済活動の意義と市場経済の機能、金融・財政及び租税の役割など、経済理論について記述した（第1号）。 ・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、財政再建の課題について、本文ページで学んだ知識をもとに、資料読解を通じて、世代間の調和のとれた持続可能な財政政策を多面的・多角的に考察・構想・議論する特集ページを章末に設けた（第3号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、経済に関する現実社会の課題について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した(第2号)。	p. 150～185 p. 184～185 各節
第2編 第4章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、中小企業・農業、労働問題、社会保障など、日本経済の特質と課題について記述した（第1号、第2号、第3号）。 ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、公害問題、循環型社会の形成に向けた法整備、地球環境問題と国際的な取り組みについて記述した（第4号）。 ・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、社会保障や人口減少の課題について、本文ページで学んだ知識をもとに、資料読解を通じて、持続可能で充実した制度と今後の日本経済の在り方を多面的・多角的に考察・構想・議論する特集ページを章末に設けた（第3号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、法や経済に関する現実社会の課題について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した(第2号)。	p. 188～231 p. 201～204 p. 226～231 各節
第2編 第5章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、国際法の進展や国際政治の動向、国際社会における我が国の役割について記述した（第1号、第5号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、我が国の領土に関する内容について、地図を示して具体的に記述した（第	p. 234～259 p. 236～237

	5号)。 ・正義と責任を重んずる観点，生命を尊ぶ観点から，軍拡・軍縮問題，人種・民族問題について詳述した(第3号，第4号)。 ・個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点から，各節にさまざまな問いを設け，政治に関する現実社会の課題について，主体的かつ多面的・多角的に考察し，表現することができるよう工夫した(第2号)。	p. 247～257 各節
第2編 第6章	・幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養う観点から，国際経済のしくみや動向，グローバル化と金融危機，地域経済統合の動向や新興国の現状と課題について記述した(第1号)。 ・公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，公正な国際貿易の実現について，多面的・多角的に考察・構想・議論する特集ページを設けた(第3号)。 ・他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から，貧困問題とその削減への取り組みや我が国の経済協力について記述した(第5号)。 ・個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点から，各節にさまざまな問いを設け，政治に関する現実社会の課題について，主体的かつ多面的・多角的に考察し，表現することができるよう工夫した(第2号)。	p. 262～282 p. 271 p. 283～287 各節
第3編	・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養う観点から，地球温暖化や森林保全に関する国際的な取り組みについて，記述した(第4号)。 ・創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点，正義と責任を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，現代の諸課題を探究するための具体的な方法論を示し，生徒の学習段階や深度に合わせて協働的な考察・構想ができるよう工夫した(第2号，第3号)。	p. 294～305 p. 292～305

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第五十一条三項(社会について，広く深い理解と健全な批判力を養い，社会の発展に寄与する態度を養うこと)に則して，多様なコラムや特集，問いかけなど教科書全体を通じて，生徒が現実社会の課題に対して主体的かつ多面的・多角的に考察できるように配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-87	高等学校	公民	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	公共 007-901	詳述公共 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「公共」が公民科の基礎科目であることに鑑み、生徒が興味・関心をもって学習しながら、基礎的・基本的な事項を無理なく学習できるように、以下の点についてとくに配慮した。

- 1) 重要用語や難解な専門用語については、注を多用し、丁寧に解説した。
- 2) 生徒が社会的事象に対する客観的かつ公正なものの見方や考え方ができるように、統計資料を豊富に掲載した。
- 3) 生徒が章全体の主題（学習上の課題）について理解できるように、現実社会の諸課題に関わる具体的な事例を扱った「Introduction」を各章のはじめに設けた。また、各単元の主題を理解・把握できるように、各節冒頭に導入文と問いかけを設けた。
- 4) 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現実社会の諸課題を多面的・多角的に考察・構想したり、考察・構想したことを効果的にまとめたり、議論したりする力を養うため、各ページに、資料から情報を適切かつ効果的に読み取る「Check」、本文で学んだ知識を確認し、それを活用して考察し、表現する「Try」、参考意見を基に現実社会の課題について主体的・対話的に考察する「Opinion」などのさまざまな問いを設け、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を身に付ける学習が一体となって展開され、深い学びができるよう工夫した。
- 5) 生徒が学習上の課題について理解できるように、章全体の主題に関連する具体的事例を扱った「Introduction」を各章のはじめに設けた。また、各単元の主題を理解・把握できるように、各節冒頭に導入文と問いかけを設けた。
- 6) 第1編「公共の扉」では、社会に参画する際に、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論などや、公共的な空間における基本的原理を理解するため、帰結主義や義務論などの考え方を本文で丁寧に説明した。また、それらの見方・考え方や基本的原理について、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察する特集「Trial」を設けた。
- 7) 人間としての在り方生き方に関わる古今東西の先哲の原点資料を多数掲載し、先哲の主張の要点を読み取る技能を身に付けるための問いかけを設けた。
- 8) 第2編「よりよい社会の形成に参加する私たち」では、現実社会の課題について、本文での学習内容をもとに、資料読解を通じて、現実社会の課題の解決策を多面的・多角的に考察する特集「Active」を章の途中や章末に設け、協働的な学習をおこなえるよう工夫した。
- 9) 第3編「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」では、生徒自らが探究する課題を見いだすために、課題の設定や情報の収集と読み取り・分析、課題の探究、自分の考えの説明、論述といった学習活動を紙面上で追体験できるようにしており、そのうえで現代世代と将来世代の対立などの観点から、より深い探究活動をおこなえるようにした。
- 10) 生徒が、主体的に課題を探究するための技能を養うことができるように、課題の設定方法や、情報の収集方法、情報の読み取りと整理の方法、レポートのまとめ方、プレゼンテーションのやり方などについて、上記第3編で丁寧に解説した。

- 11) 生徒が現代社会の動向に関心をもてるように、本文に関連した時事的な事例を扱った「Seminar」を設けた。
- 12) 抽象的な思想や制度、理論について自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説する「Q & A」を設け、自学自習に取り組めるようにした。
- 13) 領土問題については、広い視野に立って理解を深めることができるように、国内外の事例を紹介したうえで、日本に関する問題の所在と平和的解決が模索されていることを、地図を活用しながら詳述した。
- 14) グローバル化が進む現代社会において、日本国内の諸現象のみならず、世界全体の課題について、持続可能な国際社会づくりといった観点から探求できるよう、SDGs に関する特集ページを設け、主体的・対話的で深い学びの一助となるように配慮した。
- 15) 公民としての資質・能力を育成するために、全編を通じて生徒の問題意識に訴えかける文章を多用したほか、平和と個人の尊厳を重視する視点を貫いた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 公共の扉	A 公共の扉		14
第1章 社会を作る私たち	(1)公共的な空間を作る私たち	p. 8～21	3
第2章 人間としてよく生きる	(1)公共的な空間を作る私たち (2)公共的な空間における人間としての在り方生き方	p. 22～45 p. 38, 46～51	6
第3章 民主社会の倫理	(3)公共的な空間における基本的原理	p. 52～59	2
第4章 民主国家における基本原理	(3)公共的な空間における基本的原理	p. 60～74	3
第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち		44
第1章 日本国憲法の基本的性格	ア(ア)法や規範の意義及び役割 イ我が国の安全保障と防衛 エ必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取り、まとめる技能	p. 106～107 p. 82～89 各節	7
第2章 日本の政治機構と政治参加	ア(ア)司法参加の意義 イ政治参加と公正な世論の形成、地方自治 エ必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取り、まとめる技能	p. 118～123 p. 110～117, 124～147 各節	8
第3章 現代の経済社会	ア(ウ)市場経済の機能と限界、金融の働き、職業選択、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 エ必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取り、まとめる技能	p. 148～185 各節	9

第4章 経済活動のあり方と国民福祉	ア(ア)多様な契約及び消費者の権利と責任 (ウ)雇用と労働問題, 職業選択, 財政及び租税の役割, 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 (エ)必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取り, まとめる技能	p. 205～209 p. 186～204, 210～231 各節	10
第5章 国際政治の動向と課題	ア(イ)国家主権, 領土(領海, 領空を含む。), 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割 (エ)必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取り, まとめる技能	p. 232～259 各節	5
第2章 国際経済の動向と課題	ア(イ)国際貢献を含む国際社会における我が国の役割 (ウ)経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際関係における貧困や格差の問題を含む。) (エ)必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取り, まとめる技能	p. 288～291 p. 260～287 各節	5
第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	p. 292～305	8
計			66